

サクラマスの耳石バーコード標識パターン数を増やすための低水温飼育と昇温刺激を併用した標識方法

メタデータ	言語: Japanese
	出版者:
	公開日: 2024-08-06
	キーワード (Ja):
	キーワード (En):
	作成者: 坂本, 準, 桑木, 基靖, 江場, 岳史
	メールアドレス:
URL	所属:
	https://fra.repo.nii.ac.jp/records/2010469

This work is licensed under a Creative Commons Attribution 4.0 International License.



サクラマス^①の耳石バーコード標識パターン数を増やすための低水温飼育と昇温刺激を併用した標識方法

坂本 隼・桑木基靖・江場佑史

サクラマス (*Oncorhynchus masou*) の耳石バーコード標識パターン数を増やすための標識方法について検討した。水温を 9.5℃ から 5.5℃ に冷却した飼育水を用いた結果、標識が可能な発眼卵から浮上までの期間を 9.5℃ の飼育に比べて 44 日間延長することができた。また、標識時に 24 時間の昇温刺激 (4℃) を与えることで、卵期に 3 本、仔魚期に 5 本の明瞭なバンドを施すことができた。この結果から、低水温飼育と標識時の昇温刺激標識を併用することで耳石バーコード標識パターン数を増やすことが可能となった。

水産技術, 2 (1), 25-30, 2009